

友だちに自分の行きたい国について伝えよう

子どもたちは、自分がやりたいことや見たいものを伝える英語に親しんできました。

単元のゴールは「先生たちと、世界の行きたい国について話をしてみよう！！」です。校内の先生方と「行きたい国」について英語でやり取りをするために、どのような表現を使ったら良いか考えました。これまで授業では、先生同士のやりとりの様子を撮影した動画を見て、友だちとも相談し、より伝わりやすいやりとりの内容を考えてきました。



①ウォーミングアップです。

アン先生と一緒に確認をしながら、気持ちの良い挨拶や、「休みの日にどこにいったの？」など、やりとりをしています。



②いよいよ次時は先生方と会話をします。

本時では、アン先生と藤森先生とのデモンストレーションを見て、会話を続けるためにはどうしたら良いか考えます。



③「相手が知らないものを伝えたい時ってあったよね。」そこで今日のゴールは「うまく伝わらない時に、情報を付け加えて会話を続けよう」です。



④iPadの写真を見せながらペアで会話の練習をします。先生役と児童役で会話をします。うまく会話が續かない時にはお互いに助言しながら、会話が續くように取り組んでいます。



⑤2人の児童がやり取りを見せてくれました。その様子を見て、リアクションを取る与会話が盛り上がるのではと考えました。今度は、様々な相手とのやり取りに挑戦してみます。



⑥本時の振り返りです。情報を付け加えることによって会話が続きたと感じたり、伝えたいことがまとまっていたりしたと感じていました。「友だちのやりとりがヒントになった」と感じた児童もいました。



Teamsを活用して

伊那市内の先生方が連携して授業づくりを考える

伊那市のICT活用教育は、「授業での有効活用に関する研究」へと深化しています。「伊那市学力向上検討委員会」の先生方にもご協力をいただき、授業研究を積極的に行っています。本年度からは伊那市内の先生方で情報共有できるアプリ(Teams)を活用し、連携して授業づくりを行なっています。

伊那市学校教育の情報化ビジョン2024の4つの柱の1つに「子どもと共に未来を創る教員」があります。具体的には、「教師は子どもたちの主体的な学びの伴走者となるため、新たな学びのあり方を理解し、教師自身もまた学び続けることが重要。そのために子どもたちと共に模索していく教師を目指し、学びの機会や教員間のコミュニティを創設する。」としています。

推進センターではコミュニティの一つとして「Teams」による情報共有を推進してきています。これによって、現在では多くの小中学校で先生方が積極的に活用しています。

本年度は市内の英語の先生方を中心にコミュニティが作られ、Conference2024での伊那中学校(活用教育NO86)の授業づくりや学力向上検討委員会の東部中学校(活用教育NO87)の授業づくりには他校の先生方も校種を超えて関わっています。

さらに、この取り組みを「活性化」するために伊那北小学校では授業公開前から多くの情報を発信しました。

授業者の藤森美帆先生からの今回の授業づくりについての感想

- ・英語でのICTの活用についてです。子どもたちが、今回、いつでも先生方のやり取りの動画を見ることのできる環境にしました。
- ・こういった環境になると子どもたちは繰り返し動画を見るようになります。ICTを使うことは外国語では非常に有効だと感じました。子どもたちは動画から自分に使えるような表現をどんどん真似して英語を使っていました。
- ・今回Teamsで授業に関するやり取りをしていたのですが、私にとって大切な学びになりました。1時間1時間を振り返って、自分のやりたいことをまとめられたので、Teamsの活用がもっと広がっていくと感じましたし、気楽に色々なことを聞くことができてありがたかったです。

参加された委員の先生方のご意見

- ・今までの研究会は、本時の授業の場面のみに研究を行っていました。しかし、今回の授業ではTeamsを使って、事前の1時間1時間の授業の中でのうまくいったことや困ったことを共有していたので研究会が大変深まりました。事前の授業についてもっとこうすればよかったことなども共有されていました。ですから、授業者はこれまでのTeamsでのやり取りを踏まえて授業を展開していました。参観者もTeamsでのやり取りがわかっていたので授業を参観する上で参考になっていました。Teamsを活用して、「みんなで作り上げていく授業づくり」を、伊那市内の全教科に広げていきたいです。

伊那北小では、第1時の授業様子からTeamsで紹介し、市内の先生方が授業アイデアを書きこんでいます。やり取りを見ているだけでも授業づくりの参考になります。

※Teams(インストール等)については各校のギガサポーターにお気軽にお声がけください。

時になっていくが楽しみですね！

藤森 美帆 10月3日、19:59
田中先生ありがとうございます！工夫できる余地、とても大切だと感じます。子どもたちのプレッシャーにならないような、やりたいと思えるラインを狙って動画撮っていきたく思います。

田中 幸一 10月3日、20:08
先生方が楽しみながらチャレンジしていくことが一番ですね！

藤森 美帆 10月4日、19:45
第2時で撮った動画共有します！



田中 幸一 10月4日、22:47

素晴らしいやりとりですね！藤森先生はもちろんですが、この男性の先生の英語力とその表現力は中学の英語の先生方も参考にしたいです！聞いた表現を繰り返し、相手を打ったり、表情も豊かで、役者ですね！素晴らしいモデル動画だと思いました！子供たちも身を乗り出して見入ったので！余談：いきなり「チーズ好きですか？」は……かも。例えば、この男性の先生がチーズなどを隠れて食べている場面に藤森先生が遭遇したとしたら、その会話場面も自然だったかもしれませんね！

藤森 美帆 10月5日、10:07
外国語が専門でない先生にも動画に映ってもらうことで、より簡単に子どもたちも使いやすい表現が出てくるので私も自分も発見があり、多くのことを学ばせてもらっています。会話の始め方、悩んだ部分でした。…きつと子供たちも悩むところだろうなと感じています。この単元のゴールとして学校の先生方に行きたい国について話をする活動をお願いします。いきなり「where do you want to go?」と聞いたり、「I want to go to...」と伝えるのも大変な感じがするのでフックッション会話を挟むと思うのですが、子どもたちの英語力でどんな会話の始め方があるのか、もしもにアイデアがあれば教えてください…

伊那北小学校 6年 藤森美帆 先生 Mary Anne Cadangyao 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

探究的な学び

先進的な学び

個別最適な学び
協働的な学び
自立的な学び

子どもと共に
未来を創る教員

伊那市では「学校教育情報化ビジョン2024」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。